

日本看護協会は 看護職への暴言、暴力、ハラスメントを絶対に許しません 最善の医療・看護を受けられる社会を 看護職とともに一緒につくっていきましょう



私たち看護職は、患者・利用者の治療や療養を支えるため、専門職として日々全力を尽くしています。

これまで、看護職は暴言、暴力、ハラスメントを受けても「自分のケアの方法が悪かったのではないかと自分を責めたり、(患者は)病気がそうさせているのだから「叩かれても仕方がない」「怒鳴られても仕方がない」と考え我慢することが多くありました。

しかし、看護職も国民の皆さんと同じ人間です。**暴言や暴力を受ければ傷つき、中には恐怖から看護の仕事に戻れなくなった人もいます。**

私たちは医療・看護を必要とする皆さんと互いを尊重しあい、安全で安心できる医療・看護を一人ひとりに合わせて提供したいと考えています。

皆さんが急なけがや病気などで医療者と関わる際には、苦痛や不安などから普段とは違い攻撃的になられたり、自己中心的な態度をとってしまわれたりすることがあるということを看護職は理解しています。また病気の症状などで、通常では考えられない言動をとってしまう場合があることも知っています。

私たち看護職は、専門職者としてそれらの状況を理解し、身体面や精神面、そして社会生活に必要な対応を考え最善の看護を行っています。**必要な看護の範囲を超えた不適切な行為や行き過ぎた要求には一切対応することはできません。**

看護職が最善の医療・看護を提供するためには、看護職自身が安心して安全に働ける環境が不可欠だと日本看護協会は考えます。
その環境づくりに向けて、国民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

公益社団法人 日本看護協会会長
秋山 智弥